



ゆき どうろ しお 雪の道路にどうして塩をまくの

くま み ゆき ふせ 車が見えなくなるこな雪を防ぐ

ふゆ 冬、すべてあぶない道路に塩をまくことがありますが、これは氷をとかしてすべらないようにするためです。

また、雪が降ったあと、車の後ろにこな雪がまい上がり、後ろの車の視界をさえぎることがあります。また、風の強いときなど、こな雪が地ふぶきになることもあります。

こうした雪の上に、塩化カルシウムとよばれる白い粉をまきます。塩化カルシウムで氷がとける性質を利用して、こな雪をつぶ雪にかえることができます。

つぶ雪は、こな雪にくらべて大きなつぶになるので、まい上がることはありません。

じよせつさぎょう やくだ 除雪作業にも役立つ

ふ 降った雪は車などでおしつぶされて、固い雪になります。この雪のことを、あっせつ 圧雪とよんでいます。

この圧雪の上に塩化カルシウムをまくと、雪がつぶ雪にかわり、ばらばらの大つぶの雪にかわります。そうすると、雪がかき集めやすくなり、除雪作業がはかどるのです。

(監修 村山貢司)

